



上の写真は、年寄つた人たちにとつてまたとない楽しい1日となる主婦会主催の敬老会。久保会長のお祝いの言葉に、表情が輝いている。同じく左は、高年令者表彰を受けた宮本武藤さんと徳永スミさん。感激をかみしめているところ。



恒例の敬老会が去る六日、玉名温泉の玉栄館の広間で開かれ、今年も百五十五人の老人が参加した。(七十以上の老人は総員二百九十九人) かねがね老人たちは、共稼ぎ夫婦の多い三池労組員の各家庭の留守をまもりながら、闘いの火をかかげながら生きてきてくれた人々なのだから、主婦会より披露の踊りや歌にも、しぜん感謝の気持ちで歌われていくのが心から心へ伝わって、始終拍手がなりやまなかった。

### 感謝の踊りと歌と……

三池主婦会主催敬老会 楽しかった一日だった

この催しに、三池主婦会は毎年七十以上の老人たちを招いていて、今年も百五十五人の老人が参加した。(七十以上の老人は総員二百九十九人)

かねがね老人たちは、共稼ぎ夫婦の多い三池労組員の各家庭の留守をまもりながら、闘いの火をかかげながら生きてきてくれた人々なのだから、主婦会より披露の踊りや歌にも、しぜん感謝の気持ちで歌われていくのが心から心へ伝わって、始終拍手がなりやまなかった。

主婦会はまだ、参加した老人のうちで最高令者の宮本武藤さん(八十四才)と徳永スミさん(八十七才)ともに有明地域分会の二人を心から表彰し、記念品を贈

え、おかしに教え歌をうたって満場を笑わした。本紙も、皆さんの長寿を心からお祈りしておく。

労働者の親善 基会 (大地評)

### 短歌

### 坑夫の死

宮浦 前田義則

落盤の風につつ伏せ死傷なきわらわら燈の灯を交わしし  
落盤の砂塵渦巻く坑道に一人足るるを呼びつ  
あと落盤(はれ)を防ぐ支柱を切りこみて心懸(せ)く間も崩落の音  
あと落盤に身を構えつつ掘りし坑夫の命はわれらの命  
埋もれたる坑夫の辺り鶴鳴(つる) おきて汗のしたたる指先は掘る  
落盤に砕かれし頭上骸を運びつしきりにききす嘔吐感  
くだけたる遺体あがりし落盤(はれ)跡のもろき砂岩を手繰りておく

### 来年もお元気でネ

楓分會 斉藤清子



先日まで歴史を物語る。若い頃  
の心、現在の若者に負ひなすロマ  
ンスや自慢話も沢山あるがう  
ちおじいちゃんやおばあちゃん  
に  
中々も印象深いのは、第二次  
世界大戦がわが国が負けたこ  
と、三池闘争のときの苦しみや  
あの三池大爆発ではなかつ  
たでしょうか。

### “姿見”を読んで

鹿兒島 長野 修

おじいちゃんにおばあちゃん  
いしまも元気で、せひ来年  
もまた来て下さる。おじ  
ちゃんやおばあちゃん、おじ  
いちゃん、主婦会活動もきて行  
くのです。お互いに協力し合  
って、資本家たちだけがはれる

世の中を、動く者としてあ  
わせになる世の中が一日も早  
く来るように、一緒にがんばりま  
しょうね。  
は、また来年の敬老会に元  
氣で参加のぞきましよう。

呼んでみたい気持ちになります。  
中でも十月一日号の「姿見」の  
徳田さんの意見、ただひとこ  
と「いっは」といふより何もし  
ない気持ちです。  
これから労働者の生きる道は  
けわしくとも、くじけずがんば  
ります。

寒さもきびしくなっています  
が、お体を大切にがんばって下  
さい。

最後に、体を不自由にされた  
皆さんが一分でも一秒でもよ  
から、笑顔であられることを祈  
って失礼します。

長野さんは、全通鹿兒島東郵  
便局支所、所属の方で、お住  
は、鹿兒島市原良町二三四、  
郵政管内です。

### 別れ

四山 堀前春雄

別れ—この文字が一番嫌  
なのになんか  
私の胸をかきむしってやっ  
た  
別れ—という奴が  
思いつき、差別に汗を流し合  
ったことも

え、おかしに教え歌をうたって満場を笑わした。本紙も、皆さんの長寿を心からお祈りしておく。

労働者の親善 基会 (大地評)

短歌

落盤の風につつ伏せ死傷なきわらわら燈の灯を交わしし  
落盤の砂塵渦巻く坑道に一人足るるを呼びつ  
あと落盤(はれ)を防ぐ支柱を切りこみて心懸(せ)く間も崩落の音  
あと落盤に身を構えつつ掘りし坑夫の命はわれらの命  
埋もれたる坑夫の辺り鶴鳴(つる) おきて汗のしたたる指先は掘る  
落盤に砕かれし頭上骸を運びつしきりにききす嘔吐感  
くだけたる遺体あがりし落盤(はれ)跡のもろき砂岩を手繰りておく

落盤死せる友の自転車押してゆく社若の道のながき黄昏(たそがれ)  
地の底に動く者の宿命とくられし声死者の廻(めぐ)り  
開坑より今日までに殺されし坑夫を想ひ眠れぬ落盤の夜  
通夜の席に坑夫おのれを卑しめる無口無器用の青年が泣く  
練りなおす抗議文書殺されし坑夫の通夜に涙ながさぬ  
係長風情(ふせい)の用意断りて生きてたかえと亡骸にいう  
出棺の人のうしろに梅(うめ)くしめる坑夫の妻の静寂のまま  
遺影抱く老婆の足にあわせゆく葬送(さうそう)に冬日(ふゆ)の列(り)れい

思いつき、スクラム組んで団  
結の歌をうたったことも  
手を固く握り合って語りたか  
だ  
でも胸に何ものかが重くのしか  
かり  
強く  
剛く  
握を閉して許さなかった

セロリは冷くも刻む  
セロリは容赦なく汽車を走り  
せる。  
退職した炭掘る仲間を乗せて

### 悲しき恋のものがたり

三川 柁島 敬三

一  
さびてみなき聞くとこれ  
これから始まるこの歌は  
涙まじりの物語り  
二  
ある日彼女に恋をした  
わがわが胸のうら  
涙流してしまふ  
三  
だげと彼女のうらた  
取るべきものが安んぢ  
いっしょになつても苦勞する  
四  
彼女の休日は木曜日  
俺の休日は日曜日  
たまの休みもすれ違ふ  
五  
ちよとのこでデートする  
映画に食事とボーリング  
サイフがカラカラかぎひいた  
六  
やがて彼女と結ばれた  
本当のしあわせつかひま  
二人手をとりあひま  
七  
さびて皆さん以上です  
俺と彼女の物語り  
二人のしあわせつかひま  
二人のしあわせつかひま

### 「君が代」と日の丸

—栃木から—

梶木から  
梶木市内のある学校のこと。  
きまつた時間に「君が代」がスピーカーから流れる。いままで自由に遊んでいた子どもが整列して脱帽し、日の丸に向かつて直立不動の姿勢をとる。

これは、二十数年前の話ではない。また遠い所の話でもない、市内の学校でいま行なわれていること。話にはきいていたが、実際に目にしたときは思はずゾッとした。

(全林野矢板分會「おし」)  
【運合】